

災害時においても人権意識は重要

今年の夏は異常とも言える暑さでした。気温の上昇だけではなく、ゲリラ豪雨や台風による水害、北海道では最大震度7の地震が発生するなど、日本各地で大きな被害を受けました。映像を通して伝わる現地の様子はとても悲惨です。被災地のみんなが協力し合い、自衛隊が派遣され救助にあたり、行政の方々も必死で住民を先導しています。各地からは援助物資が運ばれボランティアが集まります。そこには、それぞれに人を思いやるという人権意識が自然と動き、みんなで助けあう姿があります。



自然災害を防ぐことはできませんが、被害を最小限に防ぐには、各自が災害の備えをすること、冷静に行動すること、正しい情報を得ることが求められます。それには行政の役割が非常に重要となります。日頃より防災計画をたてるなど、備えと対応を十分に考えていますが、行政の責任として想定外にはならないよう市民を守ってほしいと思います。

行政として必要なことは、市民を司る立場としてやるべきことと、市民目線で考え対応することではないでしょうか。忙しい日常業務の中においても、市民の生活が豊かになるための第一に考えなければなりません。それが行政の意義でありやりがいでもあると思います。市民を守る役割を担うわけですから、その責任をしっかりと背負うと同時に人権意識を人一倍持ってほしいと思います。その延長上に、市民を守り頼りになる行政があるのではないのでしょうか。

私たちは人権啓発を主に活動していますが、その使命を心に刻み「どうやって知ってもらえるか？どうやってわかってもらえるか？」を試行錯誤しながら、活動を続けています。人の心と意識に訴える活動なので、その結果は目に見えませんが、日頃はもちろん災害時においても、人権意識はとても重要で助け合うために大きな役割を担い、心と体を動かします。その意味がわかっているからこそ、これからも様々な人権啓発活動を続け人の心に訴えていきます。

人権啓発講演会 2018 in KOFU

8月29日、甲府市総合市民会館にて長谷川真知子さんを講師に招き「人権啓発講演会 2018 in KOFU」を開催しました。日本航空国際線客室乗務員や大学での講師の経験を、「思いやる心の表現」という演題でわかりやすく丁寧にお話いただきました。



活動報告

- 人権啓発パネル展 9月5日～9月18日、甲府市東公民館・甲府市西公民館にて、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。
- 人権移動教室 8月30日、甲府市立中道北小学校にて人権移動教室を開催しました。
- 人権啓発講演会 8月29日、甲府市総合市民会館にて、「人権啓発講演会2018 in KOFU」を開催しました。



今後の予定

- 人権啓発講演会 10月15日 (甲府市役所庁舎)
- 人権移動教室 9月27日 (甲府市立北新小学校)、10月18日 (甲府市立北西小学校)



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp